

9 パブリックコメント手続き

基本方針(案)について、平成26年10月17日(金)から平成26年11月17日(月)までの期間、市民の皆様からのご意見を募集し、いただいたご意見を参考に、当初案を一部変更しました。

(1) 意見募集実施の概要

ア 意見募集期間

平成26年10月17日(金)から平成26年11月17日(月)まで

イ 意見提出方法

郵送、FAX、Eメール、ホームページ上の意見募集フォーム、持参

ウ 資料の配布・閲覧場所など

- ・札幌市役所本庁舎(2階市政刊行物コーナー、10階市長政策室政策企画部)
- ・各区役所(総務企画課広聴係)
- ・各まちづくりセンター
- ・札幌市内各小中学校【小・中学生向け意見募集用小冊子】
- ・札幌市内児童会館【小・中学生向け意見募集用小冊子】
- ・札幌市ホームページ

エ その他

大学生向けパブリックコメントワークショップの開催(10月27日、8大学44名参加)

(2) パブリックコメント(大人の意見)の内訳

ア 意見提出者数・意見件数

31人・51件

イ 年代別内訳

年代	10代	20代	30代	40代	60代	不明	合計
人数	3人	16人	1人	2人	2人	7人	31人
件数	5件	29件	1件	4件	2件	10件	51件

ウ 提出方法別内訳

提出方法	ホームページ	郵送	FAX	Eメール	持参	合計
提出者数	3人	13人	0人	0人	15人	31人
構成比	10%	42%	0%	0%	48%	100%

エ 全体意見内訳

分 類	件数	構成比
第1章 公共施設のあり方検討の必要性	0	0%
第2章 基本理念	2	3.9%
第3章 公共施設の再構築に向けた基本的方向性	3	5.9%
第4章 基本的方向性を踏まえたエリア別の取組方針	37	72.5%
第5章 用途別施設の今後の方向性	7	13.7%
第6章 再構築を進めるに当たって	1	2.0%
基本方針全体に対する意見	1	2.0%
その他	0	0%
合 計	51	100.0%

※札幌市市有建築物の配置基本方針（案）の構成に沿って分類している。

(3) キッズコメント（子どもの意見）の内訳

ア 意見提出者数・意見件数

497人・519件

イ 学年別内訳

学年	小学			中学			不明	合計
	4年以下	5年	6年	1年	2年	3年		
人数	12人	113人	218人	6人	23人	122人	3人	497人

ウ 主な意見内訳

分 類	件数	構成比
第1章 公共施設のあり方検討の必要性	3	0.6%
第2章 基本理念	0	0.0%
第3章 公共施設の再構築に向けた基本的方向性	53	10.2%
第4章 基本的方向性を踏まえたエリア別の取組方針	310	59.6%
第5章 用途別施設の今後の方向性	33	6.4%
第6章 再構築を進めるに当たって	14	2.7%
基本方針全体に対する意見	18	3.5%
その他	88	17.0%
合 計	519	100.0%

※札幌市市有建築物の配置基本方針（案）の構成に沿って分類している。

※構成比の算出は四捨五入しているため、合計値とその内訳の累計値とは一致しない場合がある。

(4) 意見に基づく当初案からの変更点

市民の皆様からいただいたご意見をもとに、当初案から7項目修正しました。また、他のご意見についても、今後の施策を実施する際に、可能な限り取り入れていきます。

No.	箇所	修正前	修正後
1	P25 第4章 1 「郊外住宅地など 身近な地域」におけ る取組方針 【「小学校を中心と した公共施設の複合 化」モデルプラン】 6点目	<p>【意見要旨】</p> <p>○小学校の複合化にあたっては、立地などを含めニーズ調査が必要である。</p> <p>○小学校の複合化にあたっては、できるだけたくさんの方の意見を聞き、可能な限り話し合うことが大切である。</p> <p>○公共施設はみんなが使うものだから、みんなで意見を考えることが大事だと思う。(キッズコメント)</p> <p>○小学校の複合化にあたっては、問題・トラブルなどが起こらないようにどのようにしたら良いか、みんなでしっかりと考えていくべきである。(キッズコメント)</p>	<p>・今後はこのモデルプランを基本としつつも、個別の地域の実情等を踏まえながら、小学校を中心とした公共施設の複合化の具体的な取組を進めていきます。</p>
		<p>・今後はこのモデルプランを基本としつつも、<u>地域住民等と十分に議論を行い</u>、個別の地域の実情やニーズ等を踏まえながら、小学校を中心とした公共施設の複合化の具体的な取組を進めていきます。</p>	
2	P26 第4章 1 「郊外住宅地など 身近な地域」におけ る取組方針 【「小学校を中心と した公共施設の複合 化」モデルプラン】 1F部分	<p>【意見要旨】</p> <p>○小学校で、子供から高齢者までが趣味や習い事などをできるようにしたらいいと思う。(キッズコメント)</p>	<p>(★会議室を共用)</p> <p>「午前中：地域住民の文化講座」</p> <p>「放課後：児童の習い事」</p> <p>「夜間：町内会の会議」</p>
		<p>(記載なし)</p>	

No.	箇所	修正前	修正後
3	P27 第4章 1 「郊外住宅地など身近な地域」における取組方針 【「小学校を中心とした公共施設の複合化」モデルプラン】 複合化に当たっての留意点 ① 構造面 1点目	【意見要旨】 ○複合化施設では、不審者等から児童を守る安全対策を最優先にすべきである。 ○複合化にあたっては、児童の負担とならないよう教室配置については留意すべきである。 ○複合化された小学校について、安全面や管理面に留意する必要がある。(キッズコメント) ○小学校を開放すると不審者などが入ってくる可能性があるため、交番の設置や警備員を配置して欲しい。(キッズコメント)	・児童の安全確保や教育への影響に配慮した適切な動線設定が必要 ・児童の安全確保や <u>良好な教育環境の確保が最優先であり、玄関の配置の工夫や管理人室の設置などにより、利用者把握が容易となる適切な動線設定が必要</u>
4	P27 第4章 1 「郊外住宅地など身近な地域」における取組方針 【「小学校を中心とした公共施設の複合化」モデルプラン】 複合化に当たっての留意点 ① 運営面 2点目	【意見要旨】 ○共同で小学校を使うと、使う人の時間のルールなどをしっかりと決めて、守らないといけないと思う。(キッズコメント)	・特別教室や学校施設以外の共用部分などについて、共同利用や時間帯別利用が円滑に行えるよう、運営協議会の設置など <u>一体的な管理運営体制の構築が必要</u> ・特別教室や学校施設以外の共用部分などについて、共同利用や時間帯別利用が円滑に行えるよう、運営協議会の設置など <u>一体的な管理運営体制の構築と利用に際してのルールづくりが必要</u>
5	P27 第4章 1 「郊外住宅地など身近な地域」における取組方針 【「小学校を中心とした公共施設の複合化」モデルプラン】 複合化に当たっての留意点 ② 運営面 3点目	【意見要旨】 ○複合化施設においては、世代を越えた交流プログラムを実施した方が良いと思う。 ○幅広い世代の交流を目指すなら、将棋や囲碁など多世代で遊べる機会があれば良いと思う。(キッズコメント)	・利用者同士の交流イベント実施などソフト面での仕掛けが必要 ・ <u>世代を越えて参加できる利用者同士の交流イベント実施などソフト面での仕掛けが必要</u>

No.	箇所	修正前	修正後
6	P27 第4章 1 「郊外住宅地など 身近な地域」におけ る取組方針 【「小学校を中心と した公共施設の複合 化」モデルプラン】 複合化に当たっての 留意点 ② 運営面	<p>【意見要旨】</p> <p>○複合化にあたっては、多世代交流を促進したり、発生した問題の解決などを行うコーディネーター役が必要である。</p> <p>(記載なし)</p>	<p>・複合施設における多世代交流を活性化するため、コーディネーター機能を果たす人材の配置について検討が必要</p>
7	P28 第4章 1 「郊外住宅地など 身近な地域」におけ る取組方針 ③ 地域の拠点施設 における公共施設の 複合化	<p>【意見要旨】</p> <p>○市有建築物の配置や再整備を考える上で、既存の建物ありきの計画や人数的な線引きによる分割を行わないで欲しい。 特に、小学校の再編など街の活性化に直結するハード面に関する計画は、地域コミュニティのようなソフト面の充実・活性化が永続的に担保されるような整備計画を立てて欲しい。</p> <p>○廃校となった小学校をコミュニティ施設として活用すべきである。(キッズコメント)</p>	<p>(③地域の拠点施設におけるコミュニティ機能の配置</p> <p>○(変更なし)</p> <p>○(変更なし)</p> <p>○<u>小学校の再編などにより小学校がなくなった地域においては、学校施設の跡活用や民間資源の活用など、地域の実情に応じて、地域コミュニティの拠点機能を確保していきます。</u></p>

(5) パブリックコメント（大人の意見）の概要と札幌市の考え方

意見の概要	市の考え方
第2章 基本理念（2件）	
2 基本理念の実現に向けた3つの視点	
<p>公共施設の更新需要の問題は全国的に問題となっているが、札幌市は他都市と異なり、施設総量の減少の面だけではなく、従来の公共施設の概念の発想の転換、街の再構築という視点で考えており、斬新で良いと思う。</p>	<p>（原案賛成意見）</p>
<p>複合化は地域での人間関係の繋がりが薄い時代には最適な取組だと思う。</p>	
第3章 公共施設の再構築に向けた基本的方向性（3件）	
方向性1 集約連携型の施設配置	
<p>「歩いて暮らせる街づくり」を掲げているが、介護一步手前の高齢者は近距離でも歩くことが困難であり、日常の買い物や食事など生活支援を必要とするため、生活支援サービスをより充実させていくべきである。</p>	<p>郊外住宅地など身近な地域においては、現在の小学校区に相当するエリアを身近な公共施設の利用圏域としての「地域コミュニティエリア」と設定し、この中に地域コミュニティの活性化を図るために必要な機能を配置してまいります。</p> <p>併せて、札幌市では、これまでも配食サービスの実施や有償ボランティアの派遣など生活支援サービスを行っておりますが、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるように、今後も日常生活を支援するサービスの充実を図ってまいります。</p>
方向性2 施設が多機能化	
<p>複合施設が単なるハコモノで終わらないよう目的を明確にするべき。</p>	<p>ご意見のとおり、複合化の目的を明確にしないと、単純な複数の施設の合築となるため、「これまで異種の公共施設を利用していた多様な市民の交流が生まれ、特に多世代交流など利用者同士の交流によって、相互の見守りや地域課題の共有など地域コミュニティのさらなる深化につながるような新たな効果が創出されることが期待される」など目的を記載しております。</p>

意見の概要	市の考え方
方向性 4 多様な主体による施設サービスの提供	
<p>運営主体として民間を活用するイメージがわかりにくい。</p>	<p>運動施設など、公共施設が提供する機能と類似の機能を提供する民間施設が多数存在する分野については、施設サービスの提供に当たり、民間事業者との連携を検討してまいります。</p>
第 4 章 基本的方向性を踏まえたエリア別の取組方針 (37 件)	
1 「郊外住宅地など身近な地域」における取組方針	
<p>小学校の複合化にあたっては、立地などを含めニーズ調査が必要で、建物だけ作っても、利用されないともったいない。結局、高齢者だけの施設になってしまうのではないか。</p>	<p>小学校の複合化にあたっては、「モデルプランを基本としつつも、個別の地域の実情等を踏まえながら、小学校を中心とした公共施設の複合化の具体的な取組を進めていきます」と記載しておりましたが、ご意見を踏まえ、地域住民等と十分に議論を行い、個別の地域の実情やニーズ等を踏まえる旨追記いたしました（修正 No1）。</p> <p>複合化モデルプランにおいては、地域全体の見守りで児童の安全を確保することをコンセプトとしているほか、配置の考え方として、管理人室や視認性の高い職員室を配置し、子供の安全に配慮することを掲げております。また、複合化にあたっての留意点として、「児童の安全確保や教育への影響に配慮した適切な動線設定が必要」と記載しておりましたが、ご意見を踏まえ、児童の安全確保や良好な教育環境の確保が最優先であること、玄関の配置の工夫や管理人室の設置など、利用者把握をおこなう必要性について追記いたしました（修正 No3）。</p>
<p>複合化にあたってはできるだけたくさんの方の意見を聞き、可能な限り話し合うことが大切である。</p>	
<p>小学校の複合化により児童の安全面が懸念されるため、本人特定のため、「公共施設共通カード」のようなものを作成するべきである。</p>	
<p>小学校へ複合化するコミュニティ関連施設については、児童の安全を図るため同一建物とせず、隣接した場所に別棟で建て、児童が授業や放課後のクラブ活動で当該施設を訪問するようにすれば良いと考える。</p>	
<p>近年、小学生を狙った犯罪が増えているので、小学校の複合化により安全面でどのような配慮があるのか気になる。</p>	
<p>「開かれた学校づくり」及び地域人材の活用という面からも、小学校の施設複合化は良いと思うが、不審者等から児童を守る安全対策を最優先にすべきである。</p>	
<p>小学校の複合施設化について、日中に色々な人が出入りすることにより、児童の教育環境が損なわれないよう留意する必要がある。</p>	

意見の概要	市の考え方
<p>小学校の複合化により多世代交流が生まれることは良いと思うが、子どもの安全面に留意する必要がある。</p>	
<p>交流スペースについては、防犯カメラの設置など子どもの安全面に留意する必要がある。</p>	
<p>児童の安全確保のため、地域の方の小学校の利用は、小学生のアクティビティに合わせ、日中に行うもの、児童帰宅後に行うものと分けて実施した方が良い。</p>	
<p>小学校の複合化により多世代交流が生まれることは良いと思うが、子どもの安全面に留意する必要がある。</p>	
<p>小学校の複合化は良い考えだが、安全性の確保や管理責任のあり方について市民に説明する必要がある。</p>	
<p>余裕教室の有効活用や、高齢者にとっての利便性などを考慮すると、身近な施設である小学校を多機能化し、多世代交流の場とすることに賛成であるが、現実的には安全性の問題などがあることから、ワークショップのような地域住民の意見やニーズに合わせて取組を進めていくべきと考える。</p>	
<p>公共施設の複合化は、防犯対策について地域に事前説明することにより、納得・安心してもらうことが必要である。</p>	
<p>複合化モデルプランでは普通教室が3F・4Fに配置されているが、低学年が毎日4Fまで昇るのは負担がかかるため、教室配置については留意すべきである。</p>	

意見の概要	市の考え方
<p>施設の整備だけでなく、多世代交流に繋がる行事や催しなどソフト面についても考えていくべきである。</p>	<p>複合化に当たっての留意点として、「利用者同士の交流イベント実施などソフト面での仕掛けが必要」と記載しておりましたが、ご意見を踏まえ、世代を越えて参加できる交流イベントの実施について追記いたしました（修正 No5）。</p>
<p>複合化施設においては、世代を越えた交流プログラムを実施した方が良いと思う。</p>	
<p>世代間で考え方が異なるため、多世代交流の創出をどのように実現させるのか具体的に検討すべきと考える。</p>	
<p>同じ施設を使うというだけで多世代交流が生まれるかは疑問である。</p>	
<p>実際に繋がりを生み出すためには、交流や共通点を結び付ける「ファシリテーター」の役割を担う職員が必要である。</p>	<p>ご意見のとおり、複合化施設において多世代交流を活性化するためには、コーディネート役が不可欠であるため、コーディネート機能を果たす人材の配置を検討する必要性について追記いたしました（修正 No6）。</p>
<p>複合化に当たっては、多世代交流を促進したり、発生した問題の解決などを行うコーディネート役が必要である。</p>	
<p>同じ場所に集まっても多世代交流が起こるとは限らないため、交流を促すファシリテーターの役割を担う人が必要。</p>	
<p>市有建築物の配置や再整備を考える上で、既存の建物ありきの計画や人数的な線引きによる分割を行わないで欲しい。</p> <p>特に、小学校の再編など街の活性化に直結するハード面に関する計画は、地域コミュニティのようなソフト面の充実・活性化が永続的に担保されるような整備計画を立てていただきたい。</p>	<p>「① 地域コミュニティエリアの設定と配置基準の見直し」において、「現在の小学校区に相当するエリアを身近な公共施設の利用圏域としての『地域コミュニティエリア』と設定する」旨記載しておりますが、ご意見を踏まえ、「③地域の拠点施設における公共施設の複合化」のタイトルを変更するとともに、小学校の再編などにより小学校がなくなった地域においても地域コミュニティの拠点機能を確保する旨追記いたしました（修正 No7）。</p>
<p>保護者同士のコミュニケーションの場や保護者が気軽に子育てについて相談できる窓口などもあれば良いと考える。</p>	<p>複合化モデルプランのワークショップ実施時においても、身近な地域での子育て相談や保護者同士の交流を求める意見を多くいただきました。そのため、モデルプランにおいては、1Fに相談や交流機能を持った総合的な子育て支援の場として、「子育て支援ゾーン」を配置することといたしました。</p>
<p>子育てサロンは区役所より身近な児童会館や小学校にあると参加しやすいと思う。</p>	

意見の概要	市の考え方
<p>小学校と児童会館の複合化は良いと思うが、共用の体育館の場合、時間的制約が見込まれるため、運用を工夫して欲しい。</p>	<p>ご意見のとおり、施設の共用の場合、効率的に運用していくことは重要な視点であり、複合化にあたっての留意点として、「特別教室や学校施設以外の共用部分などについて、共同利用や時間帯別利用が円滑に行えるよう、運営協議会の設置など一体的な管理運営体制の構築が必要」と記載しています。</p>
<p>高齢者の安全面・バリアフリー等についても、今以上に配慮して欲しい。</p>	<p>ご意見のとおり、複合施設化にあたっては高齢者や障がいのある方の安全面・バリアフリー化は重要な視点であり、複合化にあたっての留意点として、「高齢者や障がいのある方に対応した一層のバリアフリー化が必要」と記載しています。</p>
<p>廃校になっていく小学校を、身近な地域に多世代が集まってスポーツができる施設にして欲しい。</p>	<p>複合化モデルプランのワークショップ実施時においても、身近な地域で軽運動など健康づくりを行いたいという意見を多くいただきました。そのため、モデルプランにおいては、1Fに身近な健康づくりの場として、「健康づくりゾーン」を配置することといたしました。</p>
<p>複合化施設については、小学校だけではなく、ちえりあ、地区センターなども候補として良いのではないかと考える。</p>	<p>ご指摘のとおり、地域の実情によっては、小学校を中心とした複合化が適さない場合もあり、「地区センターなど地域の拠点となり得る比較的大きい規模の公共施設の建替えに当たっても、身近な地域に必要な機能を複合化して配置するなど、地域の実情に応じ、効果的・効率的な施設配置を行います。」と記載しております。</p>
<p>複合化施設については、小学校にこだわらず、エルプラザや市民活動プラザ星園など小学校以外の施設で代替できないかについても検討すべきである。</p>	
<p>「歩いて暮らせるまちづくり」は、雪対策の面からも良いコンセプトだと考える。</p>	<p>(原案賛成意見)</p>
<p>これからますます少子高齢化が進展していくため、「歩いて暮らせる街づくり」は共感できる。高齢者だけでなく、身体の不自由な方にとっても必要であると感じている。</p>	

意見の概要	市の考え方
<p>小学校の複合化は子ども達がまだ出会ったことのない世界への場が広がり、多世代交流が生まれ良いと思う。</p>	<p>(原案賛成意見)</p>
<p>小学校など身近な施設で地域の人々と交流が持てるような場を作り、より複合的に活用できるようになればよいと思う。</p>	
<p>2 「主要な駅周辺などの地域交流拠点」における取組方針</p>	
<p>地域交流拠点となる地下鉄駅などについては、エスカレーターやエレベーターの設置など一層のバリアフリー化を進める必要がある。</p>	<p>(原案賛成意見)</p>
<p>交通の便の良い所には、主要な施設やその出張所を設けてもらえると、より便利で利用しやすくなると思う。</p>	
<p>都心の大きな駅に限らず、生活動線上の中核交通拠点となっている駅などを、もっと地域活性化の拠点として再整備して欲しい。</p>	
<p>第5章 用途別施設の今後の方向性 (7件)</p>	
<p>児童会館は利用者が減少しているため、多目的利用ができる機能が必要であり、多世代交流を図るため、児童会館と老人福祉センターを複合化すべきである。</p>	<p>児童会館の機能と老人福祉センターが担う交流・娯楽機能については、小学校などの身近な地域への配置を検討してまいります。</p>
<p>児童会館が学校と複合化するのも仕方がないと感じる。</p>	
<p>市内で空いているアパートが多くあるにも関わらず、他の施設を減らしてまで市営住宅を建替える必要はないと思う。市営住宅のように住んでいる人しか使えない建物を税金で建て替えて、他の公共施設を減らすことが納得できない。</p>	<p>市営住宅は公営住宅法に基づき、住宅に困窮する方の住居として建設しております。そのため、老朽化した市営住宅については、国からの交付金や家賃収入を活用し、建替えることが必要と考えております。</p> <p>なお、市営住宅の総量などについては、更新需要の本格化や市内民間空き家の増加傾向を踏まえ、本方針に基づき、今後見直しを行う札幌市住宅マスタープランの中で検討してまいります。</p>
<p>市営住宅は入居倍率が高く、一部の運が良い入居者のために、多額の税金を使い建替える必要はないと考える。</p>	
<p>地区センターについても小学校に複合化しても良いと思う。</p>	<p>地区センターの持つ機能は、複合化等により小学校などの身近な地域へ配置してまいります。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>中央図書館大通カウンターは場所が分かりにくいため、JR駅など人が多く分かりやすい場所に設置すべきである。また、利用者増加を図るため、郵便返却サービスを取り入れるべきである。</p>	<p>現在、図書館が担っている貸出・返却等のサービスは、市民の方の利便性向上のため、小学校など身近な場所への配置を検討してまいります。</p> <p>なお、今年度、中央図書館大通カウンターは、地下鉄南北線大通駅北改札口近くに移転予定で、地下歩行空間にも近くなり、市民の方の利便性向上につながると考えております。いただいたご意見は、今後の施策の参考といたします。</p>
<p>市営住宅周辺の案について、近年、孤立化する単身高齢者が増加しているため、このような形で交流を図れる環境は魅力的だと思うが、住民間の交流を活発化するため、入居者同士で町内会のような組織を設置し、広場を利用したフリーマーケットなどの交流の機会を設けることが重要である。</p>	<p>市営住宅では、市営住宅入居者で組織している自治会（町内会に準ずる組織）があり、自治会によってはお祭りなどを開催し入居者間でのコミュニティ形成を図っております。</p> <p>ご意見のとおり、住民間の交流の機会が設けられることは重要であり、交流の機会を増やしていくソフト面の充実が必要と考えております。</p>
<p>第6章 再構築を進めるに当たって（1件）</p>	
<p>3 市民との情報共有と合意形成</p>	
<p>再構築の計画段階において、市民が参加することはニーズを把握するうえでも重要であるため、しっかりとした計画に基づいたワークショップを実現して欲しい。</p>	<p>ご意見のとおり、地域住民が施設サービスの客体に留まることなく、主体的に計画や運営に参画することは重要な視点であり、「今後、再構築の具体的な取組を進めるに当たっても、効果的・効率的な視点を踏まえつつ、利用者である地域住民や施設管理者を交えたワークショップを開催するなど様々な手法により、多くの市民に参加をいただきながら、市民と行政が共に知恵を出し合い、新たな時代に対応した公共施設を創り上げていきます」と記載しています。</p>

意見の概要	市の考え方
基本方針全体に対する意見（1件）	
<p>今まで通りの方が良いと思う。</p>	<p>本方針は、今後の人口減少や超高齢社会の到来など社会情勢の変化や公共施設の更新需要の本格化などに対応するため、従来の発想を転換し、「共生のまち」を目指す札幌市にふさわしい新たな公共施設への再構築に向けた基本的方向性や取組方針を示すものです。</p> <p>今後、具体的取組を行うにあたっては、様々な機会を捉えて積極的に情報発信し、市民の合意形成を図りながら進めてまいります。</p>

(6) キッズコメント（子どもの意見）の概要と札幌市の考え方

意見の概要	市の考え方
第1章 公共施設のあり方検討の必要性	
<p>「少子高齢化」が急速に進み、これまでずっと増え続けてきた人口が、平成 27 年度以降には減ることとなるので、今後、医療や介護に必要なお金が増えて大変になると感じた。</p> <p>(類似意見：2 件)</p>	<p>(原案賛成意見)</p>
第3章 公共施設の再構築に向けた基本的方向性	
<p>「歩いて暮らせるまちづくり」は老人にとっても便利になり良いと思う。(類似意見：34 件)</p>	<p>(原案賛成意見)</p>
<p>小学校の複合化にあたっては、コスト削減のため、住民などから募金をすると良いと思う。(類似意見：10 件)</p>	<p>ご意見のとおり、公共施設の運営について、市民に積極的に参加してもらうことは重要な視点であり、公共施設運営への市民参加として、「地域住民がコミュニティ施設を自主運営するなど、市民が利用者としての立場を越えて、コミュニティ全体の利益を考えるとという視点から施設運営に参加していく仕組みとともに、民間事業者やNPOなど、多様な主体が施設の企画・運営について提案できる仕組みを検討します」と記載しております。</p>
<p>複合化した小学校の管理については、地域のボランティアの人を活用すると良いと思う。(類似意見：2 件)</p>	
第4章 基本的方向性を踏まえたエリア別の取組方針	
<p>小学校の複合化はとても良いことだと思うけど、問題・トラブルなどが起こらないようにどのようにしたら良いか、みんなでしっかりと考えていくべきである。</p>	<p>小学校の施設複合化にあたっては、「モデルプランを基本としつつも、個別の地域の実情等を踏まえながら、小学校を中心とした公共施設の複合化の具体的な取組を進めていきます」と記載していましたが、ご意見を踏まえ、地域住民等と十分に議論を行い、個別の地域の実情やニーズ等を踏まえる旨追記いたしました(修正 No1)。</p>
<p>公共施設はみんなが使うものだから、みんなで意見を考えることが大事だと思う。(類似意見：1 件)</p>	

意見の概要	市の考え方
<p>小学校で、子供から高齢者までが趣味や習い事などをできるようにしたら良いと思う。 (類似意見：5件)</p>	<p>ご意見を踏まえ、「小学校を中心とした公共施設の複合化」モデルプラン（1F部分 文化活動ゾーン）の活動イメージとして、「午前中：地域住民の文化講座」、「放課後：児童の習い事」、「夜間：町内会の会議」を追記いたしました（修正 No2）。</p>
<p>複合化された小学校について、安全面や管理面に留意する必要がある。（類似意見：47件）</p>	<p>複合化モデルプランにおいては、地域全体の見守りで児童の安全を確保することをコンセプトとしているほか、配置の考え方として、管理人室や視認性の高い職員室を配置し、子供の安全に配慮することを掲げております。</p>
<p>小学校を開放すると不審者などが入ってくる可能性があるため、交番の設置や警備員を配置して欲しい。（類似意見：11件）</p>	<p>また、複合化に当たっての留意点として、「児童の安全確保や教育への影響に配慮した適切な動線設定が必要」と記載しておりましたが、</p>
<p>施設が複合化されると、他の施設利用者の騒音などにより、授業に集中できなくなる恐れがあるから反対である。（類似意見：21件）</p>	<p>ご意見を踏まえ、児童の安全確保や良好な教育環境の確保が最優先であること、玄関の配置の工夫や管理人室の設置など、利用者把握をおこなう必要性について追記いたしました（修正 No3）。</p>
<p>共同で小学校を使うと、使う人の時間のルールなどをしっかりと決めて、守らないといけないと思う（類似意見：12件）</p>	<p>複合化の留意点として、「特別教室や学校施設以外の共用部分などについて、共同利用や時間帯別利用が円滑に行えるよう、運営協議会の設置など一体的な管理運営体制の構築が必要」と記載しておりましたが、ご意見を踏まえ、利用に際してのルールづくりが必要な旨追記いたしました（修正 No4）。</p>
<p>幅広い世代の交流を目指すなら、将棋や囲碁など多世代で遊べる機会があれば良いと思う。 (類似意見：10件)</p>	<p>複合化にあたっての留意点として、「利用者同士の交流イベント実施などソフト面での仕掛けが必要」と記載しておりましたが、ご意見を踏まえ、世代を越えて参加できる交流イベントの実施について追記いたしました（修正 No5）。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>廃校となった小学校をコミュニティ施設として活用すべきである。</p>	<p>「① 地域コミュニティエリアの設定と配置基準の見直し」において、「現在の小学校区に相当するエリアを身近な公共施設の利用圏域としての『地域コミュニティエリア』と設定する」旨記載しておりますが、ご意見を踏まえ、「③地域の拠点施設における公共施設の複合化」のタイトルを変更するとともに、小学校の再編などにより小学校がなくなった地域においても地域コミュニティの拠点機能を確保する旨追記いたしました（修正 No7）。</p>
<p>多世代交流を図るため、小学校に老人ホームなど介護施設を配置すると良いと思う。 (類似意見：32件)</p>	<p>ご意見のとおり、多世代交流を図るため、高齢者が必要とする機能を配置することは重要な視点であり、地域コミュニティの活性化を図るために必要な機能として、手軽に日常的な運動ができる健康づくりなど、介護予防にも効果がある機能の配置を挙げております。</p>
<p>小学校を複合施設化することによって、幅広い世代の交流が生まれるし管理するのが効率よくなって良いと思う。(類似意見：99件)</p>	<p>(原案賛成意見)</p>
<p>同じ建物内に子育て支援総合センターや保育園があると、小学生が赤ちゃんと触れ合う機会が多くなるので、良いと思う。(類似意見：1件)</p>	<p>複合化モデルプランのワークショップ実施時においても、身近な地域での子育て支援機能を求める意見を多くいただきました。そのため、モデルプランにおいては、1Fに総合的な子育て支援の場として、「子育て支援ゾーン」を配置することといたしました。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>児童会館が小学校などと複合化すると使用時間が限られるため、この方針に反対する。 (類似意見：17件)</p>	<p>ご意見のとおり、施設の共用の場合、効率的に運用していくことは重要な視点であり、複合化にあたっての留意点として、「特別教室や学校施設以外の共用部分などについて、共同利用や時間帯別利用が円滑に行えるよう、運営協議会の設置など一体的な管理運営体制の構築が必要」と記載しています。</p>
<p>児童会館が小学校の中に入るなら、小学校の中に別の体育室のようなものをもう一つ作って欲しい。(類似意見：11件)</p>	<p>また、複合化モデルプランのワークショップ実施時においても、体育館とは別に放課後の児童の運動スペースをしっかりと確保するべきとの意見を多くいただきました。そのため、モデルプランにおいては、1Fに「運動スタジオ」として、放課後の児童の運動スペースを配置することといたしました。</p>
<p>小学校に地域の人がちょっとした運動ができる部屋があれば良いと思う。(類似意見：5件)</p>	<p>複合化モデルプランのワークショップ実施時においても、身近な地域で軽運動などができる施設が必要という意見を多くいただきました。そのため、モデルプランにおいては、1Fに身近な健康づくりの場として、「健康づくりゾーン」を配置することといたしました。</p>
<p>障がい者の人たちも安心して施設を利用できるように、エレベーターを設置して欲しい。 (類似意見：9件)</p>	<p>ご意見のとおり、複合施設化にあたっては高齢者や障がいのある方の安全面・バリアフリー化は重要な視点であり、複合化にあたっての留意点として、「高齢者や障がいのある方に対応した一層のバリアフリー化が必要」と記載しています。</p>
<p>公共施設の複合化は良いと思うが、小学校だと勉強する場所が減るのは嫌なため、皆が入りやすく近い区民センターなどに複合すれば良いと思う。</p>	<p>小学校の複合化にあたっては教育への影響に十分配慮いたしますが、地域の実情によっては、小学校を中心とした複合施設化が適さない場合もあり、「地区センターなど地域の拠点となり得る比較的大きな規模の公共施設の建替えに当たっても、身近な地域に必要な機能を複合化して配置するなど、地域の実情に応じ、効果的・効率的な施設配置を行います。」と記載しております。</p>

意見の概要	市の考え方
第5章 用途別施設の今後の方向性	
<p>小学校のプールを開放し、他の学校の児童や大人も使えるようにしたら良いと思う。 (類似意見：3件)</p>	<p>ご意見のとおり、複合化された小学校が「地域に開かれた施設」としての側面を持つことは重要な視点であり、「再構築後の将来イメージ図」として、プールを子ども達や住民が利用している絵を掲載しております。</p>
<p>市営住宅を介護施設にするなどもっと色々なことに活用して欲しい。</p>	<p>市営住宅の今後の方向性として、「建替えに当たっては、市営住宅における良好なコミュニティ形成を図るため、周辺に若者世代の居住機能や生活利便機能を誘導していくほか、地下鉄駅周辺などの拠点では、民間と連携し、余剰地等に高齢者向け居住機能などを配置していきます。」と記載しております。</p>
<p>児童会館が学校の中にあったら良いと思う。 (類似意見：2件)</p>	<p>(原案賛成意見)</p>
第6章 再構築を進めるに当たって	
<p>この方針に賛成であるが、建てる前にその土地の周辺を詳しく調査したり、予算も最低限度で行うなど、地域住民と議論していくことが必要だと思う。(類似意見：2件)</p>	<p>ご意見のとおり、地域住民が施設サービスの客体に留まることなく、主体的に計画や運営に参画することは重要な視点であり、「今後、再構築の具体的な取組を進めるに当たっても、効果的・効率的な視点を踏まえつつ、利用者である地域住民や施設管理者を交えたワークショップを開催するなど様々な手法により、多くの市民に参加をいただきながら、市民と行政が共に知恵を出し合い、新たな時代に対応した公共施設を創り上げていきます」と記載しております。</p>

意見の概要	市の考え方
基本方針全体に対する意見	
<p>とても素晴らしい方策だと思う。これにより、これからの世代の人たちの発展や地域の人々との交流につながると、より街は良くなっていくのではないかと思う。(類似意見：9件)</p>	<p>本方針は、今後の人口減少や超高齢社会の到来など社会情勢の変化や公共施設の更新需要の本格化などに対応するため、従来の発想を転換し、「共生のまち」を目指す札幌市にふさわしい新たな公共施設への再構築に向けた基本的方向性や取組方針を示すものです。</p>
<p>基本方針に賛成であるが、複合化にあたっては費用がかかる恐れがあるため、慎重に計画を練って欲しい。(類似意見：4件)</p>	<p>今後、具体的取組を行うにあたって、様々な機会を捉えて積極的に情報発信し、市民の合意形成を図りながら進めてまいります。</p>
その他	
<p>ボール遊びのできる公園を増やして欲しい。(類似意見：4件)</p>	<p>札幌市は小さな公園が多く、ボール遊びをすると他の利用者や近隣に住む人たちの迷惑となることから、多くの街区公園ではボール遊びを原則禁止としています。危険が伴わない程度のボール遊びはこの限りではなく、比較的広く安全を確保できる公園では、ボール遊びが可能ですので、そちらをご利用頂いております。</p> <p>また、新規の公園や再整備工事では市民の意見を聞きながら整備を進めているところです。今後、具体的取組を行うにあたって、様々な機会を捉えて積極的に情報発信し、市民の合意形成を図りながら進めてまいります。</p>
<p>公園のトイレをきれいにして欲しい。(類似意見：5件)</p>	<p>市内の公園トイレは900箇所近くあり、すべてのトイレを週に1～2回、利用頻度に応じて定期的に清掃を行っていますが、ご自宅や学校など建物の中のトイレのように常時きれいに保つことは困難です。</p> <p>今後は利用者にきれいに使用してもらうなどの啓発活動も必要と考えております。</p> <p>また老朽化したトイレは計画的に建て替えを行ってまいります。</p>